



佐土原ロータリークラブ週報



会 長：佐藤 高元 **幹 事**：太田 忍
副 会 長：梶田與之助 **会報委員長**：林 厚雄
会 計：村岡 博
事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 携帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

11月8日プログラム予定・・・ 会員卓話（梶田與之助）
 11月15日プログラム予定・・・ 職場訪問「宮原会員職場」

第949回 平成18年10月25日（水）

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
 - 2. ロータリーソング
「我らの生業」
 - 3. 会長の時間
 - 4. 幹事報告
 - 5. 夜間例会「大光寺」
(米山奨学生との交流)
 - 6. 点 鐘

第948回の記録 平成18年10月18日
 ★ 会長の時間 佐藤 高元 君
 皆さん今日は、「ロータリーの源流」は、ロータリーの学習をする時、最も身近に活用できる文献（資料）の一つとして利用させていただいています。今日はその中から、「日本の常識は、世界の常識」を紹介します。これは、日本のロータリー・クラブでは常識的に行っていることが、外国のクラブではどのように行われているのだろうか、その実態を紹介しています。16項目ありますので何回かに分けて紹介します。

(1) 例会では国家を歌う。例会の会場には国旗を掲げる。

戦争中、ロータリー発祥の地はアメリカであることから、ロータリーはアメリカのスパイではないかと疑惑をかけられました。（注日本のロータリー誕生は対象9年）その疑いを晴らすために国に対して忠誠を誓うことを証明する意味で、例会で国家を歌いそれが習慣化したものです。当時は毎例会に特高がきてサーベルをガチャつかせながら例会を監視したそうです。国

旗も同様な理由で掲揚され今日に至っています。アメリカは移民の集まりなのでアメリカ人であることを自覚させるために国家斉唱・国家掲揚が盛んです。

(2) ロータリーソングを歌う。

初期のシカゴクラブでは、会員同士の親睦と物質的相互扶助が盛んに行われましたが、1907年にはポールハリスは、対社会的奉仕と拡大に活動方針を転換しました。1908年に入会したアーサーシェルドンは奉仕の必要を強調したために、親睦・互惠派に分かれて例会が激論の場になってしまった。そのとげとげした雰囲気や和らげる意味でハルレーラグレスが始めたのが歌を歌う習慣です。

日本では、例会や各種の会合で始まる前や閉会する前に儀礼的にロータリーソングが歌われますが、本来はどんなタイミング・どんな歌・でも、一向に構わないのです。

(3) 点鐘で始まり点鐘で終わる。

日本では、あらゆるロータリーの会合は点鐘で終わります。これは地区大会であろうとクラブ例会であろうと全く同じで点鐘で始まり点鐘で終わるのが当然だと思われていますから、点鐘を鳴らすのを忘れていたらまさに罰金ものです。

点鐘についてはどこにも取り決めはありませんが外国ではどうなっているのでしょうか。私が（田中氏）参加した10カ国ほどの国際大会では開会宣言で始まり蛍の光で終わり点鐘ではありませんでした。

ヨーロッパや東南アジアでは、何時に始まって、何時に終わるのかわからない例会も珍しくありません。

アメリカでは点鐘を鳴らす例会もありますが、木の板を木槌で鳴らす光景も・・・

「裏へ続く・・・」

見かけます。それも開会・閉会で儀礼的に鳴らすのではなくて、スピーチの始まり終わりに注意を喚起するために使うようです。

以上のように、お国柄によって多少の違いはありますが、信頼と友情を深める場として、規律と融和に満ちた例会であることが一番望ましいと思います。

★ 幹事報告

太田 忍君

※例会変更通知

門川ロータリークラブ 幹事 島田 国雄
 日時 平成 18 年 11 月 2 日 (木)
 時間 19:00 より
 場所 延岡水郷 やな場

★ 2006-2007 年度 地区大会 報告

薩摩川内で行われた地区大会へ会員15名で参加してきました。

10月21日 AM6:30佐土原総合支所出発し9:30頃会場に到着。会長・幹事以外は13時点鐘まで時間があつたので「九州電力原発資料館」を見学しました。地区大会は盛大に行われ、第一回本会議の終盤には時期ガバナー補佐紹介コーナーで、我がクラブの岩切正司会員も宮崎中央分区分ガバナー補佐として壇上で紹介されました。



地区大会オープニング

(次年度は頑張ってください)

次期ガバナーは、延岡 RC の田村智英君です。

『友』インターネット速報

No. 253

新世代のためのパートナープロジェクト

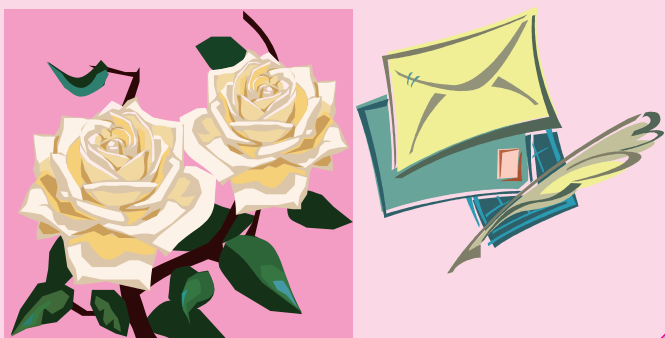
アメリカ・カリフォルニア州ロスアルトス・ロータリークラブ (RC) は、児童・生徒たちの出席率と成績の向上に貢献しました。この成功により、同クラブは、6月に、新世代のためのパートナープロジェクトにおける国際ロータリーの意義ある業績賞を受賞しました。

ロスアルトスRCは、1995年、このプロジェクトに着手。初めに、小学生の学習指導員を募りましたが、次第に高校教員や裁判所の少年指導官まで参加するになりました。彼らが目標を設定し結果を出せるよう相談・指導したところ、児童・生徒の成績が著しく向上しました。また、子どもたちと指導教員との関係は卒業後も続き、定期的な相談が続けられています。現在、40人の小学校の学習指導員と120人の高校教員が参加し、さらに他クラブとの連携を図る予定です。地元では、新しいボランティアを常に募っており、地域ぐるみの活動を広げています。

♪ ハッピーメッセージ紹介

荒武会員婦人 由美さんより～

いつもお世話になります。これからも宜しくお願ひ致します。お祝いのカードありがとうございました。



～ MEMO ～

.....

出席状況 第 945 回 平成 18 年 9 月 27 日

会員数	30名	欠席者数	8名
出席者数	22名	メイクアップ	3名
出席率	73.0%	修正出席率	83.0%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか